

## 「ふるさと讃岐」ならではの和ウェディング 特別名勝栗林公園で、初めて結婚式をプロデュースします。

ブライダル・プロデュースの㈱フェアリー・テイル（高松市瓦町2丁目2-8 社長／藤田徳子）では、このたび、当社で初となる栗林公園での結婚式をプロデュースします。国の特別名勝・栗林公園が結婚式の会場として使われるのはこの春が初めて。当社プロデュースによる結婚式は4月15日（日）、栗林公園・掬月亭において執り行われます。

### ■構想10年、ふるさと讃岐にふさわしい場所での結婚式が実現

当社で初の栗林公園での結婚式は4月15日（日）、午前11時より、栗林公園掬月亭にて神前式として行ないます。

栗林公園は国の特別名勝であり、2009年にはミシュランで最高評価の三ツ星に選ばれるなど、讃岐を代表する名園です。その栗林公園でこの春初めて、結婚式のために施設を利用することが可能になりました。これは当社社長・藤田が約10年以上前から県観光課や栗林公園の担当者に働きかけてきたことで、ようやくこの春実現に至りました。

数百年の歴史を刻んできた庭園は、新しい時代を生きる二人の門出にふさわしいステージです。特に、昨年の東日本大震災を機に、ふるさとへの思いを強め、父母や親族との絆を再認識し、ふるさとを感じられる場所での挙式を望む人が増えていることから、当社ではぜひ実現させたいと力を尽くしてまいりました。

今後、県や栗林公園側と協議を進めながら、許容範囲内で（一年に数組様）、栗林公園での挙式をプロデュースしていきたいと考えています。



### ■史跡・高松城披雲閣、金毘羅さん、瀬戸内の島々、猪熊弦一郎美術館、中津万象園など、 【ふるさと讃岐】をテーマにした結婚式を提案



当社では史跡高松城の披雲閣など、通常の結婚式場ではなく「ふるさと讃岐の結婚式」にふさわしい特別な場所でのオリジナルウェディングをこれまでも多数プロデュースしてきました。

栗林公園が結婚式会場として使えることになり、よりお客様のニーズに合った結婚式をご提案できる選択肢が増えました。当社はこれからも【ふるさと讃岐】をテーマにしたオリジナルウェディングを企画・提案してまいります。



### ■㈱フェアリー・テイル会社概要

所在地：香川県高松市瓦町2丁目2-8

設立：平成10年10月 資本金：300万円 従業員：4名

事業内容：結婚式・パーティーのプロデュース、ウエディングドレスのオーダー製作・レンタル・販売、ウエディンググッズ・引出物等のギフト販売 等

本件に関するお問い合わせ先

株式会社フェアリー・テイル 担当／藤田徳子

電話 087-863-6685 FAX 087-863-6674 E-mail [n-fujita@fairytale.co.jp](mailto:n-fujita@fairytale.co.jp)

『県外からの問い合わせ急増しています。』

## 4月15日（日）栗林公園の結婚式について

※お二人の個人情報をプレスに公開することは了承を得ています。

### ■結婚する二人について

新郎：31歳

香川県寒川町出身 東京都在住 両親は寒川町に在住。  
大学入学時に上京し、卒業後も都内で就職、現在に至る。

新婦：27歳

東京都出身 東京都在住 両親も都内に在住。  
生まれも育ちも東京都、都内の実家で暮らす。  
両親は九州の出身だが、本人は東京生まれということもあり、  
【ふるさと】という感覚はあまりない。



### ■結婚式にお二人の希望

新郎は長男。大学入学時をきっかけに上京し、就職も都内で。仕事の都合もあり現在のところ、実家に戻り跡取りをするつもりはない。両親もそのことは理解しているが、「長男だし、せめて結婚式くらいは地元で挙げてほしい」と。また香川県の婚礼風習『同行（どうぎょう）』も地元で行ってほしいと。

新婦は東京生まれの東京育ち。当初、ゆかりのない新郎の故郷で結婚式を挙げることに抵抗があった。新婦は、都内のおしゃれなレストランなどでカジュアルなウェディングを希望していた。

新郎の両親の顔を立て、乗り気ではない香川での結婚式は、親族ばかりの少人数で和風スタイルにこだわることに、自分の夢であるおしゃれなレストランウェディングは、友人を中心に都内で挙げる、といった2部式スタイルを選択した。

当社社長 藤田よりこのように説明をした。

「東京都内のレストランウェディングは誰でもできるもの。

**香川県出身の彼と、香川県で結婚式を挙げるならば、『香川県』にこだわってみてはどうか？ 場所性も、引き出物やお料理などおもてなしアイテムも、儀式や風習も。**

東京出身の彼女にとっては、【ふるさと】という意識はあまりないかもしれないが、結婚する相手のルーツを探ることは、これからの二人のアイデンティティの創出にもつながる。

二人が出会い、結婚することは、(大げさな表現かもしれないが)人々の長い歴史の1ページを刻むことであり、単なるイベントではない。

また東京からの両親、九州からの親族にとっても、結婚式でたまたま訪れる土地で、その土地の風土を体感することは、小旅行以上に楽しんでもらえるのではないかと。

桜の咲く季節の【栗林公園】の結婚式をお勧めしたい。」



## ■プランニングの経過



### 1. 栗林公園を知る

栗林公園での結婚式を挙げるからには、**栗林公園の歴史や、芸術的な趣向**などを理解していただきたいと思いました。

そこで、栗林公園の所長に園内をご紹介してもらいました。

二人が栗林公園の歴史や、芸術的な趣向などを理解していただくことで、**【ふるさと讃岐の結婚式】**の価値を深めていただきたいと思ったのです。

### 2. 披露宴会場を選ぶ

栗林公園の結婚式では、**【掬月亭】**を挙式会場として利用することになります。披露宴会場として利用不可ではないのですが、**【掬月亭】**では、飲酒が行えない規則になっているため披露宴会場としては利用しにくいのです。

そこで、披露宴会場の選定にあたっては**【ふるさと讃岐の結婚式】**のテーマ(ロケーション・料理内容など)に沿っていることをポイントにしました。今回は栗林公園内にある**【茶店 花園亭】**を披露宴会場に選びました。



### 3. 【ふるさと讃岐の結婚式】の風習でおもてなし

婚礼料理には、瀬戸内の季節の味である「鱈」や「飯蛸」、「讃岐コーチン」など**地産地消食材**にこだわって、献立作成をしました。

引き出物にも、和三盆糖をつかった引菓子など、香川県ならではの品々を選びました。

また、新郎のご近所に新婦の仲間入りを請う**讃岐の婚礼風習「同行（どうぎょう）」**も簡略式ですが、行うことになりました。

当社では、ふるさとで結婚式を挙げたいというカップルのニーズが、潜在的に多分に存在すること想定し、数年前からインターネットなどを通じて訴えてきました。

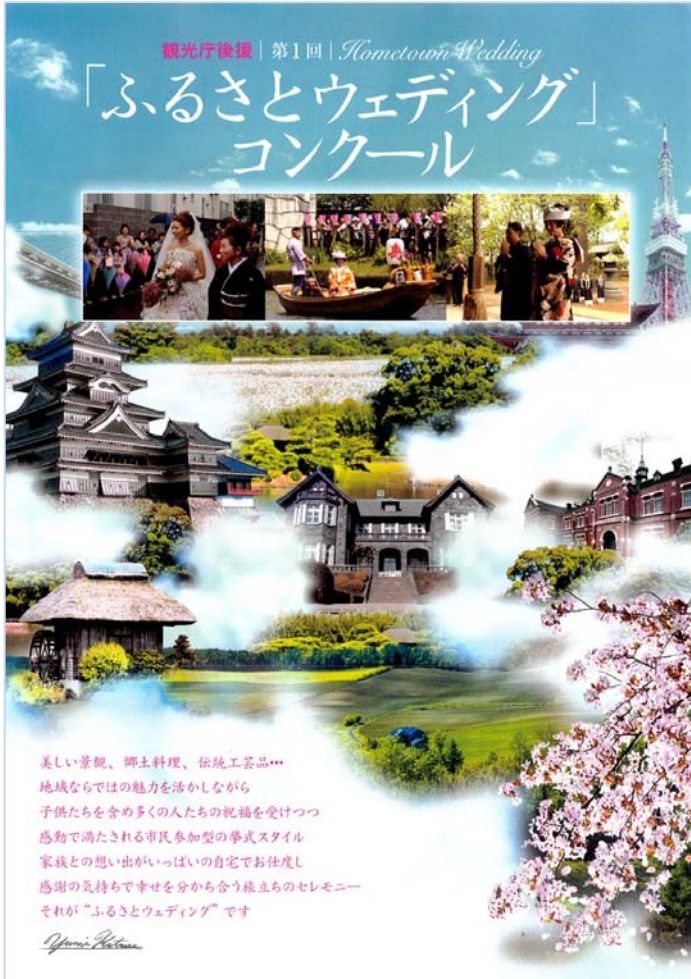
特に昨年の東日本大震災以降は、県外からのカップルの問い合わせが急増し、その成果が目に見えて現れてきました。改めて地元への執着を示され、親族や古くから付き合いのある人たちとの絆を深めるために、ふるさとでの結婚式を挙げることを希望されています。

結婚式の打ち合わせや準備のための帰郷に交通費や時間的な負担などを押しても、敢えて**【ふるさと讃岐の結婚式】**を選ばれるのは、未婚化・晩婚化など結婚するカップルを取り巻く環境や社会的背景も多分に影響していると言えます。

(※昨今の結婚事情については、別紙参考資料③参照)

心と心のつながりを求める時代だからこそ

全国的にも【ふるさと ウェディング】が話題になっています。



今、「ふるさとウェディング」がトレンドに

**名称** 第1回 ふるさとウェディング・コンクール  
**目的** 「ふるさとウェディング」の全国的普及  
**主催** NPO法人 全日本ブライダル協会  
**後援** 観光庁 ブライダル産業新聞社

東日本大震災後、「家族や身近な人との絆」を第一に考えるカップルが急増し、ふるさとウェディングへの関心が高まっています。結婚式当日は自宅で花嫁衣装に着替え、両親に娘として最後の挨拶をし、近所の方たちに祝福されて無立つ。幸せに満ちた美しい花嫁を見る機会が増えれば、若い人たちに結婚式への憧れが芽生え、少子化、結婚率の低下に歯止めをかけるきっかけになると確信します。利便性だけが先行した従来の結婚式離れが始まっている昨今、心や絆を大切にしたい、地域の魅力を生かした「ふるさとウェディング」が待ち望まれています。観光庁後援のもと、NPO法人全日本ブライダル協会では、「ふるさとウェディング」の社会的風潮を高めていくため「ふるさとウェディング・コンクール」を実施いたします。魅力ある「ふるさとウェディング」の作品をお待ちしております。

**募集内容**

**テーマ** ふるさとウェディング/地域の魅力を活かした華式スタイル  
【※実施地域は「ふるさとウェディング」実施、正式、キリスト教、一般入札制。ふるさとウェディングは問いません】

**応募資格** ふるさとウェディングを実施した企業・団体

**応募方法** ① 実際の結婚式を30分以内に編集したDVD  
② 当該華式の基本プラン、スケジュール、決算書、写真、レポート

※DVDは、参加者への送付は行いませんが、実施地域での発表、記事掲載の権利、記事掲載の権利を有するものとします。なお、応募作品はご返却いたしませんので、事前にご了承ください。※実施地域として後援施設等が定められています。

**募集期間** 2012年6月15日(金)締切り

**審査基準**

- ① 家から花嫁支度なし、近所の人、町、村の人に挨拶して出発する
- ② 地域の名所、旧跡、公園など、式場が工夫されている
- ③ 地域独自の風習(仏婚参り、花嫁のれん、船乗り入れ等)を生かしている
- ④ 披露宴での食事メニューに地域の物産を取り入れている
- ⑤ 引き出物に地域の伝統工芸品や民芸品などを取り入れている

【注】①～⑤すべてに該当しなくても、審査員から選ばれる可能性があります。また、⑥も審査員の裁量でよいとします。

**審査員** 桂三枝(言語家) 観屋崎若吾(華道家) 桂由美(デザイナー) 志村裕(観光庁観光地域振興部長)

**審査発表** 2012年6月末日 **表彰式** 2012年7月11日(水)【ブライダル産業フェア】にて受賞作品DVDを上映

**表彰** 観光庁長官賞 1企業・団体 副賞50万円 記念杯 審査員特別賞 3企業・団体 副賞10万円 記念杯

**問い合わせ先** NPO法人 全日本ブライダル協会  
〒107-0062 東京都港区南青山1-15-18 リーガル乃木坂8階 TEL:03-5413-1778 FAX:03-5413-0707

本年、観光庁などの後援を受けて全日本ブライダル協会では「第1回 ふるさとウェディングコンクール」を開催するとのこと。

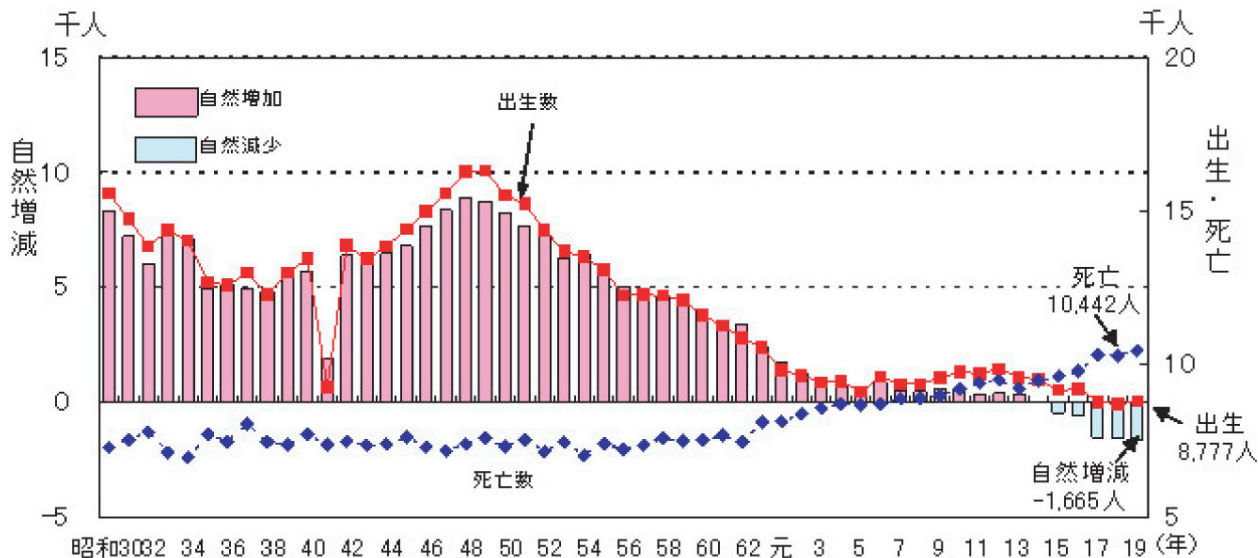
全国的なこのような風潮に先駆けて、弊社では数年前より【ふるさと讃岐の結婚式】を呼びかけてまいりました。

今、【ふるさと結婚式】が注目される背景には、結婚をするカップルの晩婚化により両親や家族も晩婚化していること、また価値観の多様化により出席者の顔ぶれも一昔前とは変化したことなどが挙げられると思います。

さらには、『結婚式』という人生最大の儀式的瞬間にこそ、自分たちの"ルーツ"について考えるべきだと心と心の通い合いを求める世相も、商業ムードに流されイベント化された結婚式に疑問を感じる本物志向のアラフォー結婚も、ふるさとでの結婚式をけん引する理由となっていると思います。

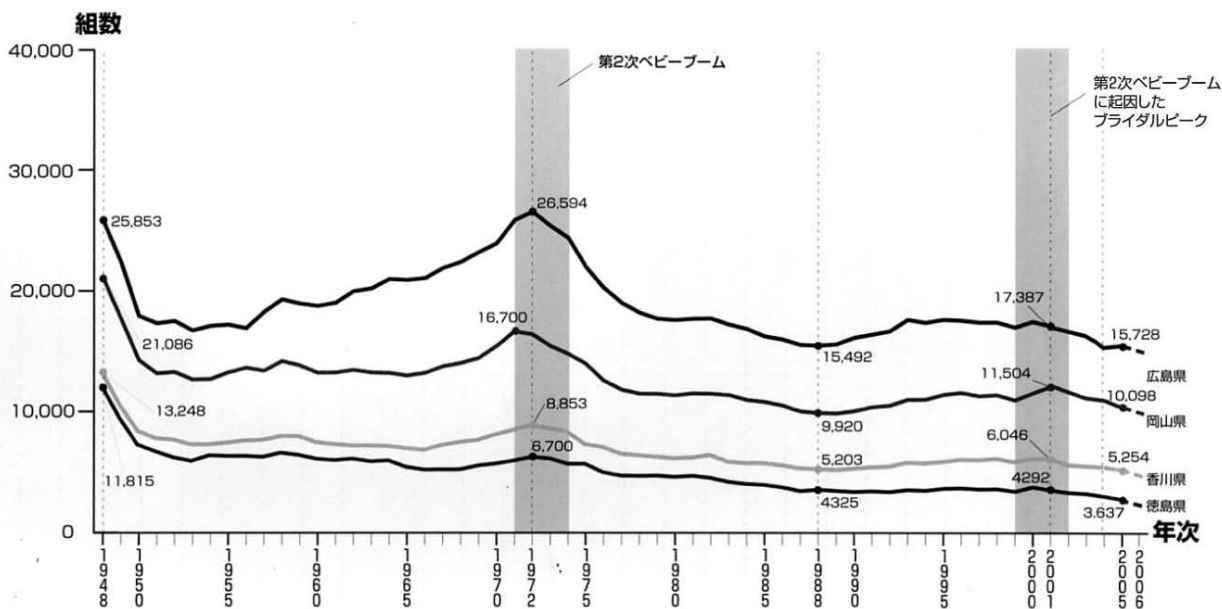
## 【イマドキの結婚事情】

### 1. 少子化による婚姻届出数の減少



#### ●香川県の自然人口動態の推移 (平成19年 香川県人口移動調査速報)

平成19年中の人口動態は、自然動態(出生・死亡)が1,665人の減、社会動態(転入・転出)が1,394人の減で、合わせて3,059人の減少(人口増減率△3.0%)。平成12年から8年連続の減少となっており、減少数も前年に比べ188人拡大している。



#### ●広島・岡山・香川・徳島各県の婚姻件数の推移 (厚生労働省調べ)

1947～1949年のベビーブームにより、1970年代前半のブライダルピークが形成され、1971～1974年の第2次ベビーブームを引き起こした。同様に、第2次ベビーブームによるブライダルピークもすでに終焉を迎えている。2001～2004年にかけてのわずか3年間で、10%以上も婚姻件数が減少しており、この傾向は今後も加速する予測。一方、入籍のみで結婚式を行わないカップルが全体の3割以上を占めたり、再婚カップルの増加など、ライフスタイルの変化に伴い結婚式のあり方そのものにも変化が見られる。

## 2. 若者たちの生活の多様化による晩婚化

(国立社会保障・人口問題研究所 出生動向基本調査より)

### ◆交際相手のいない未婚者 (18歳～34歳の未婚者対象)

1987年	男性	48.6%		
	女性	39.5%		
2010年	男性	61.4%	→結婚を望んでいない	27.6%
	女性	49.5%	→結婚を望んでいない	22.6%

### ◆平均婚姻年齢(初婚)の年次推移

1975年	男性	27.8歳	女性	25.2歳
1995年	男性	29.7歳	女性	26.9歳
2005年	男性	31.7歳	女性	29.4歳
2010年	男性	31.7歳	女性	29.4歳

※1975年から比較して【夫は3.9歳】、【妻は4.2歳】上昇。

晩婚化は確実に進んでいる。更に、女性の方が晩婚化が顕著。

### ◆晩婚化の背景

#### ◎結婚の利点

男女ともに「自分の子どもや家族をもてる」が顕著に増加。  
一方で、男性は「社会信用や対等な関係が得られる」「生活上便利になる」が減少傾向にある。  
女性は、「精神的な安らぎの場が得られる」「愛情を感じている人と暮らせる」が減少にあり、「経済的余裕がもてる」が増加傾向にある。

#### ◎独身生活の利点

男女ともに「行動や生き方が自由」が圧倒的に多い。  
「金銭的に裕福」「家族扶養の責任がなく気楽」「広い交際範囲を保ちやすい」が比較的多い。  
※これらの傾向は、1987年調査とほとんど変わらない。

↓

独身生活にメリットがあって結婚しないのではなく、結婚生活にデメリットを予想することで、未婚を選択しているのではないか？

### 3. 晩婚化による結婚式ニーズの変化

(リクルート社 結婚情報調査により)

#### ◆アラサー・アラフォー結婚

2005年 30～39歳で婚姻する女性の割合 30.8%  
※30代カップルが増加している。

#### ◆女性の晩婚化による結婚式ニーズの変化

2005年 結婚費用の全国平均 【397万円】(2002年より15万円UP↑)

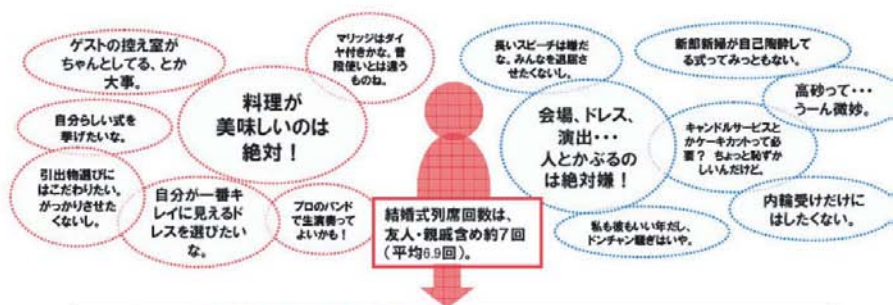
※晩婚化に伴い目の肥えた花嫁が、  
自分の結婚式では衣装や料理等にこだわる傾向にある。

## 大人の女性にふさわしい「本物」を求める30代女性たち



#### 【アネーロ】

(株)リクルートが、H19年5月、30代の女性をターゲットにしたウエディング情報誌を創刊。「アネーロ」とはスペイン語で「憧れ」の意。



- 列席者を「おもてなし」したい気持ちが強い 「料理はもてなしの重要要素!」
- 演出に意味を求める=本質追求 「中身の無い・意味の分からない演出はやりたくない...」
- 自分の美を追求する 「着たいドレスよりも、似合うドレスを選びました」

「セクシー30代読者のウエディング観」より